

京都

大
ろろつきまわりんぐ

嵐山と聞いて、何を思い浮かべますか？ 渡月橋、天龍寺などでしょうか。でも嵐山の魅力はそれだけではありません。今回は一風変わっていて、それでいて京大とも縁の深いスポットを紹介합니다。(スピカ)

嵐山で、サルとふれ合う。

渡月橋を、嵐山のメインストリートと反対に渡って、喧騒を抜けたところに嵐山モンキーパークはあります。

樫谷宗像神社^{いちたにむなかた}の境内の左手のゲートを通り、自然を感じながら磐田山の山道を上っていくと、たくさんのサルが現れます。

標高155メートルの頂上にたどり着くと、そこは展望台になっていて、なんとも見晴らしの良い景色が眼下に広がります。そして、大勢のサルと小屋が！

小屋の中では、りんごなどの果物が販売されていて、その中でだけは、金網越しに外にいるサルたちにエサをやっても



いいことになっています。サルの順位表や系図などもあり、知的好奇心が満たされるのではないのでしょうか。京都大学の理学研究科、人間環境学研究科も研究に利用しているそうです。

小屋の中や外の展望台では、小さな子供をつれた家族や、若いカップル、そし

て老夫婦など、さまざまな年代の人が景色を楽しんだり、サルと戯れたり……と、思い思いに磐田山でのゆったりとした時間を過ごしています。

他にも、ブランコなどの遊具があったりと、あらゆる年代の人が楽しめる公園です。



▲モンキーパークの入り口。嵐山の西にひっそりと佇む。



▲金網越しにエサをさし出すと、手で直接エサをとって食べます。

職員の小島修平さんにお話を伺いました

——小島さんが考えるサルの魅力とは？
僕らのことをよくわかっていますね。例えば、いたずらをして僕が注意したりすると、翌日も覚えていて、僕が近寄ったら逃げていくんですね。出産期には赤ちゃんを大事にして、僕らやお客さんが近寄っていったら、距離をとります。そういう愛情の強さはいつも感じています。僕らが思っているより賢いです。全てのサルには順位があって、お互いにそれをわかっていて常に意識しているんですね。おかげで、むやみにケンカをしないんですね。それで群れがうまくいっているんです。

——モンキーパークのセールスポイントは何でしょうか？

野生の状態のニホンザルを見られることと、景色がきれいなところですね。

——京大生へメッセージをお願いします。
サルとの付き合い方を、他の方にも教えてあげてください。

——ありがとうございました。



▲現在一位の「ワカシロ(四十四)」。性格はとも穏やか。

サルどうまく付き合うコツ

其の1：お菓子を与えるべからず！

サルが虫歯になってしまいます。

其の2：近づかず、目を合わせない！

サルが怖がってしまいます。

information



はみだし
すてーじ

妹がらいふすてーじのファンになりました。(他大学)
→ありがとうございます。私の他大学の友人もファンになりましたよ。

(工・3 ひよ)
(地味に広がるらいふの輪；編)